

広報



たまつくり

人口と世帯数

52年8月末日現在 総人口 13,891人

男 6,869人

女 7,022人

世帯数 3,125戸

第206号

昭和52年9月15日

(毎月1回発行)



かけごえも楽しく

こどもみこし祭り（緑ヶ丘）

夏は祭りの季節。そして、
その主役はこどもたち。

さる八月二十一日に緑ヶ丘
地区で「こどもみこし祭り」
が行われました。
当日の夜行われた盆踊りと
ともにこどもみこしはじめて計画さ
れたものです。

午前十時すぎに農民研修セ
ンターを出発したみこしの列
は、地区内を一回りして元に
もどり、お母さんたちのつく
つたおにぎりを口いっぱいほ
おぱりながら、疲れた様子も
見せずいかにも楽しそうでし
た。

区長さんのお話によると、
緑ヶ丘は戦後の疎開によって
できた地区。そこで、家族み
んなで参加できる楽しい行事
を、と話し合った結果盆踊り
をすることに決まり、その、
「姉妹版」として「こどもみ
こし祭り」が行われたとい
うことです。



しめやかに準町葬・受診率は67%	2
助産費・葬祭費が引上げに・県政教室が実施されます	3
秋の全国交通安全運動、いざという時の身の守りに	4~5
全国戦没者追悼式に参加して	6
祭り・お年寄りと税金	7
施設紹介（老人いこいの家「天竜荘」）	8~9
おしらせ（国民年金だより・駐在所だより）	10~11
くらしの豆知識、出産・死亡	12

主な内容

'77 / 9 月号

しめやかに準町葬

山口庄千議長死す



さる八月十六日、脳出血の為に逝去された、故山口庄千前町議会議長の準町葬が、八月十九日自宅でしめやかに執り行われました。

準町葬は葬儀委員長坂本町長の弔辞のあと、各界各層から寄せられた弔電が読みあげられ、多くの参列者がご焼香をしながら故人の冥福をお祈りしました。山口さんは昭和三十五年一月に町議会議員に初当選し、昭和四十一年一月に副議長、そして昭和四十七年一月には議長就任以来、亡くなられるまで、引き続き三期五年八ヶ月の間、名議長ぶりを發揮

されました。このほか、これまで若い時から青年団長として青年活動に身を投じ、戦後は消防団を始め多くの公職を歴任、特に玉川地区のPTA連合会長を永くつとめられ、郡圃場整備事業を採りたまでもの要職を数多く兼ねておりましたが、特に手賀、玉川地区のPTA会長を永くつとめられ、郡圃場整備事業を採りたまでもの要職を数多く兼ねておりましたが、特に手賀、玉川地区のPTA連合会長をつとめるなど教育振興に貢献しました。死亡される前まで、郡や県の要職を数多く兼ねておりました。山口さんは昭和三十五年一月に町議会議員に初当選し、昭和四十一年一月に副議長、そして昭和四十七年一月には議長就任以来、亡くなられるまで、引き続き三期五年八ヶ月の間、名議長ぶりを發揮

されました。このほか、これまで若い時から青年団長として青年活動に身を投じ、戦後は消防団を始め多くの公職を歴任、特に玉川地区のPTA連合会長を永くつとめられ、郡圃場整備事業を採りたまでもの要職を数多く兼ねておりましたが、特に手賀、玉川地区のPTA連合会長をつとめるなど教育振興に貢献しました。死亡される前まで、郡や県の要職を数多く兼ねておりました。山口さんは昭和三十五年一月に町議会議員に初当選し、昭和四十一年一月に副議長、そして昭和四十七年一月には議長就任以来、亡くなられるまで、引き続き三期五年八ヶ月の間、名議長ぶりを發揮

勲六等

瑞宝章に輝く

氏は生前勲八等に叙せられておりましたが、今度の死去にともない、八月二十一日勲六等に叙され、瑞宝章を授与されました。

受診率は67パーセント

定期住民 健診を実施



車内でのレントゲン撮影



四〇歳以上は 血圧の検診も

わきりに九月二日まで、各地で実施されました。

この検診は、法律に基いて毎年一回定期的に行われるもので、結核のレントゲン検査のほか四〇才以上の方の血圧検査も実施されます。

結核は減少したと言われていますが、まだ発病する人がおり、毎年この検診により新らしい患者が発見されております。

このほかレントゲン検査は肺ガンの発見にも大変効果があり早期発見に効果をあげています。

血圧は、常に自分の血圧の状態を知っていることが大切で血圧に関係ある病気の予防に役立つものです。最近若い人達の中にも関心が高まり、進んで検診を受ける様になつります。

このほかレントゲン検査は肺ガンの発見にも大変効果があり早期発見に効果をあげています。

血圧は、常に自分の血圧の状態を知っていることが大切で血圧に関係ある病気の予防に役立つものです。最近若い人達の中にも関心が高まり、進んで検診を受ける様になつります。

検診の実施結果は該当人員六千四二六人のうち四千三二〇人が実施し、受診率は六七%で二千一〇六人の未検診者が居ります。この方々の検診は、年内に二次検診を実施しますからぜひ受診されるようお願いします。

なお、今回の検診の結果「精密検査」を要する人は現在のところ六二名となつております。

準町葬は葬儀委員長坂本町長の弔辞のあと、各界各層から寄せられた弔電が読みあげられ、多くの参列者がご焼香をしながら故人の冥福をお祈りしました。山口さんは昭和三十五年一月に町議会議員に初当選し、昭和四十一年一月に副議長、そして昭和四十七年一月には議長就任以来、亡くなられるまで、引き続き三期五年八ヶ月の間、名議長ぶりを發揮

助産費・葬祭費を引き上げ

国保条例の一部改正

第五回臨時議会で

第五回臨時町議会が八月二十九日行われました。今回は国民健康保険条例の一部改正及びそれにともなう補正予算案と、議長選挙等が上程されました。

国保条例の一部改正の内容は、助産費と葬祭費支給の引上げで、補正予算はそれにともなう補正予算案と、議長選挙等が上程されました。議長には選挙の結果、貝塚国男さんが選ばれました。なお、可決された議案及び選挙の結果はつきのとおりです。

（第七条）

（第八条）

（第九条）

（第十条）

（第十一条）

（第十二条）

（第十三条）

（第十四条）

（第十五条）

（第十六条）

（第十七条）

（第十八条）

（第十九条）

（第二十条）

（第二十一条）

（第二十二条）

（第二十三条）

（第二十四条）

（第二十五条）

（第二十六条）

（第二十七条）

（第二十八条）

（第二十九条）

（第三十条）

（第三十一条）

（第三十二条）

（第三十三条）

（第三十四条）

（第三十五条）

（第三十六条）

（第三十七条）

（第三十八条）

（第三十九条）

（第四十条）

（第四十一条）

（第四十二条）

（第四十三条）

（第四十四条）

（第四十五条）

（第四十六条）

（第四十七条）

（第四十八条）

（第四十九条）

（第五十条）

（第五十一条）

（第五十二条）

（第五十三条）

（第五十四条）

（第五十五条）

（第五十六条）

（第五十七条）

（第五十八条）

（第五十九条）

（第六十条）

（第六十一条）

（第六十二条）

（第六十三条）

（第六十四条）

（第六十五条）

（第六十六条）

（第六十七条）

（第六十八条）

（第六十九条）

（第七十条）

（第七十一条）

（第七十二条）

（第七十三条）

（第七十四条）

（第七十五条）

（第七十六条）

（第七十七条）

（第七十八条）

（第七十九条）

（第八十条）

（第八十一条）

（第八十二条）

（第八十三条）

（第八十四条）

（第八十五条）

（第八十六条）

（第八十七条）

（第八十八条）

（第八十九条）

（第九十条）

（第九十一条）

（第九十二条）

（第九十三条）

（第九十四条）

（第九十五条）

（第九十六条）

（第九十七条）

（第九十八条）

（第九十九条）

（第一百条）

（第一百一十二条）

（第一百一十三条）

（第一百一十四条）

（第一百一十五条）

（第一百一十六条）

（第一百一十七条）

（第一百一十八条）

（第一百一十九条）

（第一百二十条）

（第一百二十二条）

（第一百二十三条）

（第一百二十四条）

（第一百二十五条）

（第一百二十六条）

（第一百二十七条）

（第一百二十八条）

（第一百二十九条）

（第一百三十条）

（第一百三十二条）

（第一百三十三条）

（第一百三十四条）

（第一百三十五条）

（第一百三十六条）

（第一百三十七条）

（第一百三十八条）

（第一百三十九条）

（第一百四十条）

（第一百四十二条）

（第一百四十三条）

（第一百四十四条）

（第一百四十五条）

（第一百四十六条）

（第一百四十七条）

（第一百四十八条）

（第一百四十九条）

（第一百五十条）

（第一百五十二条）

（第一百五十三条）

（第一百五十四条）

（第一百五十五条）

（第一百五十六条）

（第一百五十七条）

（第一百五十八条）

（第一百五十九条）

（第一百六十条）

（第一百六十二条）

（第一百六十三条）

（



送迎はマイクロバスで(玄関前)



らの世間
(浴室)



親しい人どうしで……（和室）



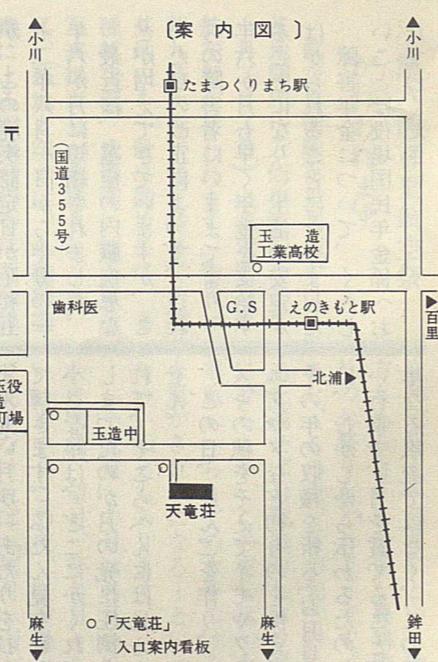
お年寄りの一番の楽しみは余興(大広間)

（所長談話）
玉造町老人いこいの家「天竜荘」はオープンしてからちょうど一年目をむかえました。が、皆さんのご協力により充実した運営をしております。
現在は福祉の時代とも言われるよう、福祉社会の実現にむけて、お年寄りや身体障害の方々のための施策は特に重要だといえると思います。

「天竜荘」は、長い間社会の方々の休養・娯楽・研修などの場、さらにお湯につかって疲れをいやす健康保持の場として、多くの皆さんに利用していくだくための施設です。幸い、周辺の環境も水と緑に囲まれた静かな素晴らしいところで、そうした環境の中で町内の皆さんも町外の皆さんも互いに一つになつて肌をふれあい、一杯をかたむけ合い、語り合うことがお年寄りの幸せにつながると思います。所内一同今後も努力してまいりますので、皆さまどうぞお気軽にいで下さるようお待ちしております。

〈使 用 料 >

区分	利用料金		団体利用
	町内	町外	(20人以上)
60才以上	300円	400円	1割引
一般	400円	500円	1割引
和室	1室につき	500円	



所在地 行方郡玉造町甲6348-10
建物 鉄筋コンクリート造2階
延面積 427.5m²
大広間 60畳、和室 10畳2室
浴室 38.27m²、休憩室 42.55m²
収容人員 130人
(電話番号) 玉造(5)0150

施設紹介

老人いこいの家 天竜荘

昭和五十一年九月十五日オープンした老人いこいの家「天竜荘」は、一年目をむかえて老人福祉行政の一端を担い、ますます充実した運営が行われています。

そこで、計画着手から概要、及び運営についてご紹介します。

建物の面積は四二七・五m²
地下一階、地上一階の造りで
冷暖房完備。地下は機械室、
倉庫及び調理室からなり、一
階は大広間、ラウンジ、和室
事務室、浴室などからなつて
います。

大広間は六〇畳の広さをも
ち、お年寄りの研修、レクリ
エーション、親睦の場として
毎日多くの老人クラブの方た
ちが利用しています。

和室は一〇畳二部屋で、家
族づれや一般の方の研修に適
しています。なかでもお年寄
りに喜ばれているのが浴室で
外の見晴しもよく、浴水は遊
離炭酸分を含んだ鉱泉で、「心
臓弁膜症、心筋障害、高血圧

症、末梢循環障害、神經症、リウマチ性疾患、創傷、陰萎症、卵巣機能不全症、更年期障害」などに効果があります。

「団体利用」：約一五人以上の場合は三日前までに電話で申込んでください。
「利用時間」：午前九時より午後四時まで。
「マイクロバスによる送迎」
一五人以上の団体の場合受付けます。

五日おりしも「敬老の日」にその完成をみました。「天竜荘」の愛称は、建てられたそ の附近一帯が「天竜」と呼ば れていることから名づけられ たものです。

「天竜荘」がオープンされ るまでは、老人福祉施設を利 用するには近隣町村の北浦（「老人福祉センター」）か小 川町（「老人いこいの家」） に足をはこぶしかなく、町内 の老人クラブ及び町民各層か ら老人福祉施設の設置が強く 望まれていました。

そういうなかで、この計画 が取り上げられたのは、閑静な地を有しておられた井川芳 男さんが、昭和四十九年の末 にたまたま掘られた井戸から 鉱泉が見つかったことに端を 発しています。鉱泉を活用す ることによつてお年寄りの皆 さんの健康管理に役立つこと ができるならばと、敷地とど もに鉱泉を提供していただき 町でも老人福祉行政に力をそ ぎ住民の要望に答える形で 設置されたものです。

○利用上のきまり

の家の運営に関する重要な事項を審議し、必要な場合には調査研究を行っています。

◆天竜荘ができるまで

お

し

ら

せ

開かれます

▶ 特別展「茨城の古瓦」

○期日 昭和52年9月28日～11月28日
 ○場所 茨城県歴史館第一展示室
 ○出陳資料 常陸国分寺、尼寺など（玉造町からは手賀遺跡が出陳されました）

○入場料

	大人	高・大学生	小・中学生
個人	100円	50円	30円
団体	50円	30円	20円

▶ 登記無料相談所

○期日 昭和52年10月1日（土）午前10時～午後3時
 ○場所 水戸京成百貨店、鹿島町中央公民館、石岡市民会館、土浦京成百貨店、その他
 ○相談事項 不動産登記及び商業登記並びに関連事項
 ○主催 茨城司法書士会、茨城土地家屋調査士会

▶ 民事家事無料調停相談会

○期日 昭和52年10月26日（水）午前10時～午後3時
 ○場所 麻生町公民館
 ○相談事項 交通事故、金銭・土地・建物の貸借、境界、売買、夫婦・親子間の問題等
 ○持参するもの 事故証明、契約書、土地・建物登記簿謄本、公図写し、戸籍（除籍謄本など）

▶ 行政相談所

行政相談週間（10/16～22）にあたり、つきのとおり開かれます。行政・法律・困りごとの相談、国に対する意見、要望などこの機会に利用してください。

なお、秘密は厳守し無料です。

○日時 10月20日（木）午後1時～3時
 ○場所 玉造町中央公民館
 ○相談員 久米久良

II 駐在所だより II

老人の交通事故防止について

暑い夏もようやく過ぎて、いた大脳に他をかえりみるゆとりがでてきました。さて、秋の全国交通安全運動が九月二十一日から一斉に実施されることはご案内のとおりです。そこで今回は“老人の交通事故防止”についてのべてみましょう。

○老人が被害にあう交通事故を多い順にみますと
 一、道路横断中
 二、自転車運転中
 三、歩行中

となっています。これは老人特有の一、注意力が十分でない。二、車のスピード感にズレがある。三、身のこなしのがおそい。

○歩行しているとき
 一、車の直前を横断する。
 一、止まっている車のかげから急にとび出す。
 一、急に止まつたり後もどりをする。
 車を運転するときは、こうした老人の特性をよく理解し、老人を見たら十分な間隔をとり除行して安全をはかりましょう。そして、人生の荒波を乗りきつてこちらをお年寄りの方々を交通事故から守りましょう。

第六回百里航空祭

航空自衛隊百里基地では、基地開庁十二周年を記念して

十月二日（日）に第六回百里

航空祭が行われます。当日は

朝九時から午後三時までの間

基地内を一般に開放して、各

種航空機、武器等の地上展示、

写真撮影会が実施されます。

又、基地上空では、各種航空機による編隊飛行や落下傘降下訓練、大空にアクロバット

の妙技を展開するブルーインパルス等が行われます。

なお、基地周辺には一万

台分の車両が収容できる駐

車場も準備されています。



福祉年金の支払月が変わります

1月が12月・5月が4月・9月が8月

このように、福祉年金の支払月が変わりましたが、十二月の支払分にかぎっては、一ヶ月繰り上げて十一月が支払をうけることができるほか、支払の開始日についても、いままでは六日とされていましたが、今後は十日に変更されました。それぞれの支払月に支払われる年金はつきの表のとおりです。

国民年金の障害年金、障害支払分については、九月においては八月分までの年金を支払いますので、九月、十月、十一月の三か月分の年金を支払うことになります。

障害年金の廃疾認定日が変更に

最近は、重症の内臓疾患などが増えていて、これらの障害者にいままでより年六ヶ月も早く年金を支給することになり、生活の安定がはかられることになりました。障害年金について、くわしくたずねください。

この日、だんごを作り、スキの穂をそえてイモやクリ、エダマメなど初ものを供えて、その年の収穫を祈る「お月見」は、むかしから伝わるたのしい行事で、月を賞ることが単なる風流ではなく、この日

季節の話題

十五夜



むかしから「秋の月はさやけきを賞で、春の月はおぼろなるを賞づ」といわれているように、月のさやけさ、清さは秋がいちばんです。毎年このころに出る満月が中秋の名月と呼ばれている「十五夜」です。

今まで福祉年金の支払は、一月、五月、十二月に変わることなり、本年十二月の支払分から実施されることになりました。

支払月	支払われる月分	支払開始日
12月	8月、9月、10月、11月	11月11日
4月	12月、1月、2月、3月	4月11日
8月	4月、5月、6月、7月	8月11日

くらしの豆知識

漂白剤の使い方

真っ白く仕上がった洗濯物は、誰が見ても気持の良いものです。最近ではどこの家庭にも、漂白剤のたぐいのものはそなえてあることでしょう。

漂白剤には塩素系のもの、酸素系のもの、硫黄化合物と塩素系は次にわけられます。塩素系は次亞塩素酸ソーダを主成分としたもので、木綿、麻、レーヨン、ポリエステル、アクリル系などに使えますが、絹・毛

・色・柄ものには使えません。酸素系は過酸化水素を主成分としたもので、絹・毛・アセテート・色・柄ものにも使えます。硫黄化合物は、次亜硫酸を主成分としたもので、どんな繊維にも使えます。

使用上の注意は、繊維に適した漂白剤を適量使うことで、漂白液は十分用意し布が表面に出ないようにしないと、ムラになります。漂白後は十分水ですすぎ、陰干ししてください。

漂白剤を保存するときは、直射日光のあたらない冷暗所に、きつりふたをしてしまっておきましょう。

“ふれあいを”



姑も嫁もお互いに心と心を出しあつて

羽高白小鈴 氏
成塚井沼木
と正亥志
み祐幹助
年名



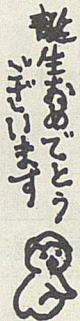
七五七八三四八年令

浜沖上芹川部
洲宿沢向落

死亡
△
7月

若荒 浜 浜 浜 海宿 中 緑 横 舟 横根 加高 上宿 浜
浜 浜 浜 山町 丘 舟津 古屋 茂須山

羽山 鈴石 成口 木橋 芳吉 淑 男 広 勇人
茂飯 重角 木島 田 田 河 竹塚 山 納 山谷
飯 重角 木島 田 田 河 竹塚 山 納 山谷
大塙 小貝 粟 加磯 菅 顺金 正一 勝義 征俊
角 大塙 小貝 粟 加磯 菅 顺金 正一 勝義 征俊
小貝 栗 加磯 菅 顺金 正一 勝義 征俊
加磯 菅 顺金 正一 勝義 征俊



出産
△
7月

英真孝 一里咲早 亜ひ喜陽 幸 敏栄 知千 赤ちゃん
紀と代 誠世 行子 美春
明理枝郎子 子苗子 み美一成

編集後記

○暑い夏が去って、知らないうちにサートとひと吹き涼しい風が入ってくる季節をむかえました。ことしの夏は長雨が続き、猛暑の日が少なかつたことから、"秋の収穫"が気になるところです。

○農家では最もいそがしい時期で、ちょうど今ごろに夏の疲れも出てきます。睡眠は充分にとつて健康管理に心がけましょう。

○さて秋の全国交通安全運動が二十一日から始まります(4ページ)。歩行者の事故では、子どもと老人が多く、夕方から夜八時頃までが最も事故の多い時間となっています。歩行者も運転者も十分に気をつけたいものです。

○“広報たまつくり”も紙面が増え、皆さんの話題や出来事をできるだけ掲載したいと思います。身近なことや意見等なんでも結構ですかから企画課広報係までお知らせください。